

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東
 コード番号 2369 URL http://www.medibic.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多見 浩次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 疋田 賢司 (TEL) 03-5439-9691
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	81	19.9	△227	—	△232	—	△258	—
25年12月期第2四半期	67	△37.1	△117	—	△129	—	△133	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △252百万円(—%) 25年12月期第2四半期 △118百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△9.00	—
25年12月期第2四半期	△5.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,042	999	95.8
25年12月期	1,002	949	94.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 999百万円 25年12月期 948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	160.0	30	—	18	—	5	—	0.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	29,059,820株	25年12月期	28,209,820株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	ー株	25年12月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	28,707,610株	25年12月期2Q	26,058,311株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、デフレ経済の解消と経済再生を掲げたアベノミクスへの期待感から、円高是正、株価上昇、さらには経済マインドの好転などにより徐々に回復の兆しを見せながら消費税増税前の駆け込み消費による一時的な経済活性化の様相が見られましたが、今後さらなる消費税の引き上げ等の影響が不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境としましては、政府が推進する医療分野の成長戦略の取り組みのもと、iPS細胞などによる「再生医療」の早期実現、ゲノムコホート研究、バイオバンク基盤整備、「個別化(テーラーメイド)医療」などの取り組みが活発化しました。

このような状況のもと当社グループは、検体保管事業による匿名化システムの開発案件や遺伝子解析に関する受託事業、さらには患者様ダイレクトに遺伝子検査事業を展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績、セグメントの業績は、次のとおりであります。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	81,475	13,533
営業損失	227,250	109,586
経常損失	232,240	102,890
四半期純損失	258,501	124,540

① 遺伝子事業

遺伝子事業につきましては、『おくすり体質検査』『CYP2D6遺伝子検査』などの販売を直販、クリニック、調剤薬局などを通じて行ってまいりました。

「CYP2D6遺伝子検査」では、「乳がん患者」のみをターゲットとした初めての直販サービスに取り組んでおります。今後はこれらの直販サービス拡大のため、「Cheer Woman」という乳がん患者のみに特化したSNS(ソーシャルネットワークサービス)を通じて、より広く遺伝子検査の市場浸透に取り組む方針であります。

ベースとなるおくすり体質検査は、主に調剤薬局からの引き合いが増えており、各種メディアでの露出効果もあり、薬による副作用発症リスク判定を遺伝子レベルで手軽に行うことができる検査として、徐々にではありますがその有用性が広がってきております。

この結果、遺伝子事業の売上高は36,109千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比23.9%減)となったため営業費用をカバーしきれず、セグメント損失(営業損失)は28,156千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期はセグメント損失12,439千円)となりました。

② 治験支援事業

治験支援事業につきましては、治験コーディネイト業務のターゲットとして婦人科系、消化器系、整形外科系に注力して営業展開を行い、活動してまいりました。

この結果、治験支援事業の売上高は29,618千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比44.6%増)、セグメント利益(営業利益)は3,242千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比20.7%増)となりました。

③ 再生医療事業

再生医療事業におきましては、前年度に引き続き「脊髄損傷」および「重症肝疾患」犬への脂肪由来間葉系幹細胞の投与治験を全国450の動物病院にて進めております。また、これまで治験において蓄積した幹細胞の分離・培養技術を、自動化する装置の開発に着手しております。

この結果、再生医療事業の売上高は4,410千円(前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期の売上高は計上しておりません。)、セグメント損失(営業損失)は70,212千円(前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期のセグメント損益は計上しておりません。)となりました。

④ その他

その他事業につきましては、米国Eleison Pharmaceuticals, LLC. (Eleison社) が開発している抗がん剤 Glufosfamide (グルフォスファミド) の支援に取り組んでおります。

Eleison社は、第Ⅲ相臨床試験申請が遅延しておりましたが、平成25年10月7日付すい臓がん患者に対するグルフォスファミドの安全性と有効性を評価するための第Ⅲ相試験を米国内にて開始したことを発表しました。主要エンドポイントは、全生存期間です。Eleison社は、この第Ⅲ相試験のためのSPA (Special Protocol Assessment) を米国食品医薬品局 (FDA) と協定を締結しており、試験完了後の平成27年にNDA (新薬承認申請) をFDAに申請する計画です。

こうした状況下で当社グループは、Eleison社との共同開発支援パートナーとして、米国およびグローバルでの臨床試験の経過を注視しつつ、アジア地域におけるライセンス販売活動を積極的に進めているところであります。

この結果、その他事業における売上高は11,337千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期の売上高は一千円)、セグメント損失 (営業損失) は25,890千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期は営業損失8,674千円) となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におきまして、関係会社株式売却益977,336千円を特別利益として、また貸倒引当金繰入による特別損失977,335千円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,042,982千円となり、前連結会計年度末に比べ40,644千円増加いたしました。主な要因としては、現金及び預金の増加51,619千円、投資有価証券の増加121,500千円、営業投資有価証券の減少94,277千円によるものであります。

負債は43,386千円となり、前連結会計年度末に比べ9,837千円減少いたしました。主な要因は、買掛金の減少3,526千円及び未払法人税等の減少2,477千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ50,482千円増加し、999,596千円となりました。これは四半期純損失258,501千円を計上したものの、第三者割当増資による新株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ151,300千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ51,619千円増加し、410,515千円となりました。当第2四半期連結累計期間の概況は次のとおりです。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動によるキャッシュ・フローは138,520千円の支出 (前年同四半期は119,985千円の支出) となりました。

これは主に税引等調整前四半期純損失257,198千円の計上の他、営業投資有価証券の減少額88,535千円によるものであります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは110,196千円の支出 (前年同四半期は13,891千円の支出) となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出55,049千円及び投資有価証券の取得による支出50,000千円によるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは301,561千円の収入 (前年同四半期は146,894千円の収入) となりました。

これは主に株式の発行による収入302,600千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月13日付「平成25年12月期決算短信」において公表いたしました平成26年12月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第2四半期連結累計期間におきましても営業損失227,250千円、経常損失232,240千円、四半期純損失258,501千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、継続企業の前提に疑義を生じさせるような事象を解消するため、「事業収益の拡大」及び「資産のキャッシュ化」を経営の柱として、引き続き安定した財務基盤の確立に努めてまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,895	410,515
受取手形及び売掛金	35,075	41,985
営業投資有価証券	94,277	—
投資損失引当金	△13,635	—
商品及び製品	198	5,831
仕掛品	20,350	10,471
貯蔵品	1,111	—
その他	24,063	19,920
貸倒引当金	△11,340	△22,680
流動資産合計	508,997	466,045
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	72,311	63,892
その他(純額)	19,874	21,196
建設仮勘定	—	21,000
有形固定資産合計	92,185	106,088
無形固定資産		
のれん	324,586	290,419
その他	45,423	45,125
無形固定資産合計	370,009	335,545
投資その他の資産		
投資有価証券	0	121,500
その他	35,954	18,612
貸倒引当金	△4,810	△4,810
投資その他の資産合計	31,144	135,303
固定資産合計	493,340	576,937
資産合計	1,002,337	1,042,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,102	575
未払法人税等	10,108	7,630
1年内返済予定の長期借入金	2,084	2,098
その他	30,788	27,994
流動負債合計	47,084	38,300
固定負債		
長期借入金	6,139	5,086
固定負債合計	6,139	5,086
負債合計	53,223	43,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775,655	2,926,955
資本剰余金	3,308,852	3,460,152
利益剰余金	△5,126,902	△5,385,403
株主資本合計	957,606	1,001,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,761	△2,338

その他の包括利益累計額合計	△8,761	△2,338
新株予約権	229	229
少数株主持分	39	—
純資産合計	949,113	999,596
負債純資産合計	1,002,337	1,042,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	67,941	81,475
売上原価	35,974	67,021
売上総利益	31,967	14,453
販売費及び一般管理費	149,631	241,704
営業損失(△)	△117,664	△227,250
営業外収益		
受取利息	11	587
その他	806	1,716
営業外収益合計	817	2,304
営業外費用		
支払利息	—	68
支払手数料	9,530	4,300
投資事業組合等損失	2,471	1,700
その他	501	1,223
営業外費用合計	12,502	7,293
経常損失(△)	△129,349	△232,240
特別利益		
関係会社株式売却益	—	977,336
新株予約権戻入益	6,540	—
特別利益合計	6,540	977,336
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	977,335
減損損失	—	12,930
固定資産廃棄損	—	433
固定資産売却損	—	9,696
特別調査費用	10,000	—
その他	—	1,900
特別損失合計	10,000	1,002,295
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,809	△257,198
法人税、住民税及び事業税	1,152	1,315
法人税等合計	1,152	1,315
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△133,961	△258,514
少数株主損失(△)	△1	△13
四半期純損失(△)	△133,960	△258,501

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△133,961	△258,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,726	6,423
その他の包括利益合計	15,726	6,423
四半期包括利益	△118,235	△252,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,233	△252,077
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,809	△257,198
減価償却費	6,198	24,994
減損損失	—	12,930
固定資産売却損益(△は益)	—	9,696
固定資産除却損	—	433
のれん償却額	—	34,240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	11,340
投資損失引当金の増減額(△は減少)	2,827	△12,669
受取利息	△11	△587
支払利息	—	68
支払手数料	9,530	—
為替差損益(△は益)	△105	1,223
投資事業組合等損益(△は益)	2,471	1,700
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△977,336
貸倒引当金繰入額	—	977,335
新株予約権戻入益	△6,540	—
売上債権の増減額(△は増加)	16,089	△6,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,447	5,357
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	—	88,535
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,459	△3,526
その他	△10,505	△45,436
小計	△117,762	△135,810
利息及び配当金の受取額	11	151
利息の支払額	—	△68
法人税等の支払額	△2,233	△2,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119,985	△138,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,341	△55,049
有形固定資産の売却による収入	—	1,500
無形固定資産の取得による支出	—	△8,110
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
関係会社株式の売却による支出	—	△396
その他	450	1,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,891	△110,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△1,038
株式の発行による収入	—	302,600
新株予約権の行使による株式の発行による収入	156,425	—
手数料の支払額	△9,530	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,894	301,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	105	△1,223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,124	51,619
現金及び現金同等物の期首残高	177,064	358,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	190,189	410,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月17日付で、ロート製薬株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結結果計期間において資本金が151,300千円、資本準備金が151,300千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,926,955千円、資本剰余金が3,460,152千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結結果計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,463	20,477	—	—	67,941	—	67,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	47,463	20,477	—	—	67,941	—	67,941
セグメント利益又は損 失(△)	△12,439	2,686	—	△8,674	△18,428	△99,236	△117,664

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△99,236千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結結果計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,109	29,618	4,410	11,337	81,475	—	81,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,109	29,618	4,410	11,337	81,475	—	81,475
セグメント利益又は損 失(△)	△28,156	3,242	△70,212	△25,890	△121,017	△106,233	△227,250

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△106,233千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結結果計期間においては12,930千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度から第1四半期連結会計期間にかけての連結子会社の増減に伴い、事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「バイオマーカー創薬支援事業」「テラーメイド健康管理支援事業」「創薬事業」「投資・投資育成事業」から、「遺伝子事業」「治験支援事業」「再生医療事業」「その他事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。